



日本のふるさと宮崎国体 2029

昭和54年10月14日～19日、「日本のふるさと宮崎国体」秋季大会が県内各地を会場に開催。串間市は卓球競技の会場に選ばれました。都井岬灯台では『串間の火』を採火、市民により炬火リレーされました（国体では、五輪の聖火にあたる火を炬火と呼び、開催市町村ごとに採火・命名することになっています）。～昭和54年10月発行・広報くしまから～



保育園児に歓迎される各県卓球選手団



My Town Topics まちの話題

市内の話題や出来事などを写真を交えて紹介します。

Scene 6

秋の味覚イセエビ汁に舌鼓



9月18日、串間市漁協で『イセエビ祭り』がありました（主催：串間市漁協）。この祭りは、イセエビ漁が解禁になる9月の恒例行事。毎月第3日曜に開かれる朝市『よかむん市』（主催：串間市地場産業進行対策協議会）との同時開催で、市内外から多くの人々が訪れました。会場ではイセエビの味噌汁や甘しょの天ぷらが振る舞われ、秋の味覚に舌鼓を打つ家族連れ笑顔が見られました。



みそ汁楽しみ

福島小学校1年 中村淳之助くん

今日は、おじいちゃんと一緒に来ました。このまつりには、何回か来たことがあります。今朝は来るのが少し遅かったので、みそ汁が食べられず残念でした。おじいちゃんがイセエビを買ってくれるので、家に帰ったらみそ汁にして食べたいです。

Scene 5

名月の宴で無礼講メゴスリ



9月10日、大東・広野地区で無病息災と五穀豊穡を願う祭り『もぐらもち』がありました（主催：広野地区）。来訪神メゴスリに扮した住民が月見の祝座に上がり、家人に祝儀を要求するなどの無礼講を働きました。地区の子どもたちはメゴスリ来訪の合図「もぐらもちゃんどこせ」のかけ声を元気に連呼。降り出した雨に負けじとわらづとで地面を打ち、祭りを盛り立てていました。



元気が圧巻

東京都在住 三輪京子さん

今年で2回目の見学です。出身地茨城にもわら束で地面を打つ祭りがあり、趣味で似たような祭りを調べています。他にも同様の祭りを観ましたが、こちらの子どもの元気さは際立っていますね。地域の方には優しく迎えられ感謝しています。

Scene 4

救急医療への理解を深めて



9月9日、救急の日にちなみ、金谷小学校（小野きよか校長・全校児童26人）で、『救急の日イベント』がありました。同イベントは消防本部主催によるもので、救急業務などに対する理解と応急手当の普及啓発活動を目的としています。イベントには全校児童が参加。講話やAEDを使った救命処置の実演、救急車の内部見学などがあり、児童は熱心に耳を傾けていました。



勉強になった

金谷小学校5年 隈本光里さん

倒れた人の救急処置法を見たことがなく、勉強になりました。救急車の中では体内の酸素を測る機械を見学しました。心臓マッサージなどの心肺蘇生法は自分でもできると思いますが、少し専門的な内容になると自分には難しいなと思いました。

Scene 3

海自輸送艦『ゆら』が寄港



9月4日、福島港に海上自衛隊の輸送艦『ゆら』が寄港しました。『ゆら』は広島県呉地方隊に所属する人員・物資などの輸送艦。今回は、同自衛隊PRのため、艦艇広報の一環として寄港しました。午前9時半からは『ゆら』の体験航海があり、約150人が参加しました。また、港には制服の試着コーナーも設けられ、制服姿で『ゆら』と写真に納まる親子連れも見られました。



景色がきれい

大東小学校3年 深江和奈ちゃん

今日は、お母さんと一緒に来ました。水しぶきがいっぱいかかって濡れました。船が進むときは、海がビールの泡みたいになっていました。船は少し揺れて、特に曲がるときは怖かったけど、船からの景色がきれいで、とても楽しかったです。

Scene 2

ビーチバレー大会inクシマ



8月28日、今町浜特設会場でビーチバレー大会inクシマが開かれました（主催：ビーチバレー大会inクシマ実行委員会）。今回で11回を迎える同大会は夏の恒例行事として広く知られ、市内外から58チームが参加。熱戦を繰り上げました。見事、栄冠に輝いたのは、たべっちBCヤング（都城市）。晴天の空の下、心地よく吹く浜風に選手は夏を思い切り満喫していました。



夏の恒例行事

福島地区・塩屋原 前田治郎さん

市内の居酒屋で働いています。今日は、バレーのチームで参加しました。今年で9回目の参加です。夏の恒例行事でこの大会に出るのが夏の締めくりになっています。ひと夏の思い出ですね。来年も参加して、準優勝を目指すつもりです。

Scene 1

炎の軌跡に歓声『火まつり』



8月26日・27日、『岬の駅』都井岬前広場で火の祭典『都井岬火まつり』がありました（主催：くしま活性化委員会）。今回、メインイベントの柱松とともに大きな話題となったのは、27日に上演された市民ミュージカル『都井岬火まつり伝説・いのちのまつり』。大蛇退治の伝説を再現した同ミュージカルでは、手づくりの大蛇が岬の風に舞い、来場者はその迫力に圧倒されていました。



少し怖かった

都城市東小学校5年 平川賢市くんとお友だち

いとこが太鼓をたたくので、親せきのみんなと一緒に来ました。火まつりは初めてです。あんなに高いところに火が入るのは無理だと思いましたが、きれいに入ったのでびっくり。火のついた松明が落ちてくると聞いたので少し怖かったです。